

熊本県・熊本市 トマトにおける共同試験

生産者：岡崎氏圃場

住所：熊本県熊本市南区川口町

品種：麗容

収穫日：令和2年4月27日

撮影日：令和2年4月27日



セル区

慣行区

施用資材

元肥

- ・セル-イースト7:7:7
- ・セル-コーラルCa
- ・セル-The漢方ぼかし
- ・セル-微量元素

土壤灌水・葉面散布

- ・プレミアム セル-The酵母細胞壁
- ・セル-亜リン酸カリ28/18
- ・セル-高濃縮有機酸ファイト・Fe²⁺
- ・セル-魚エキス600
- ・セル-フルボ酸・Fe²⁺
- ・セル-有機入り液肥1064
- ・セル-ファーメントK
- ・セル-サイエンスCa

撮影日:令和2年3月2日



セル区



慣行区

撮影日:令和2年3月2日



セル区



慣行区

撮影日:令和2年4月27日



セル区



慣行区

撮影日:令和2年4月27日



セル区



慣行区

SPAD(葉緑素計)測定値

撮影日:令和2年4月27日



セル区
測定値:53.9



慣行区
測定値:49.4

撮影日:令和2年4月27日



セル区



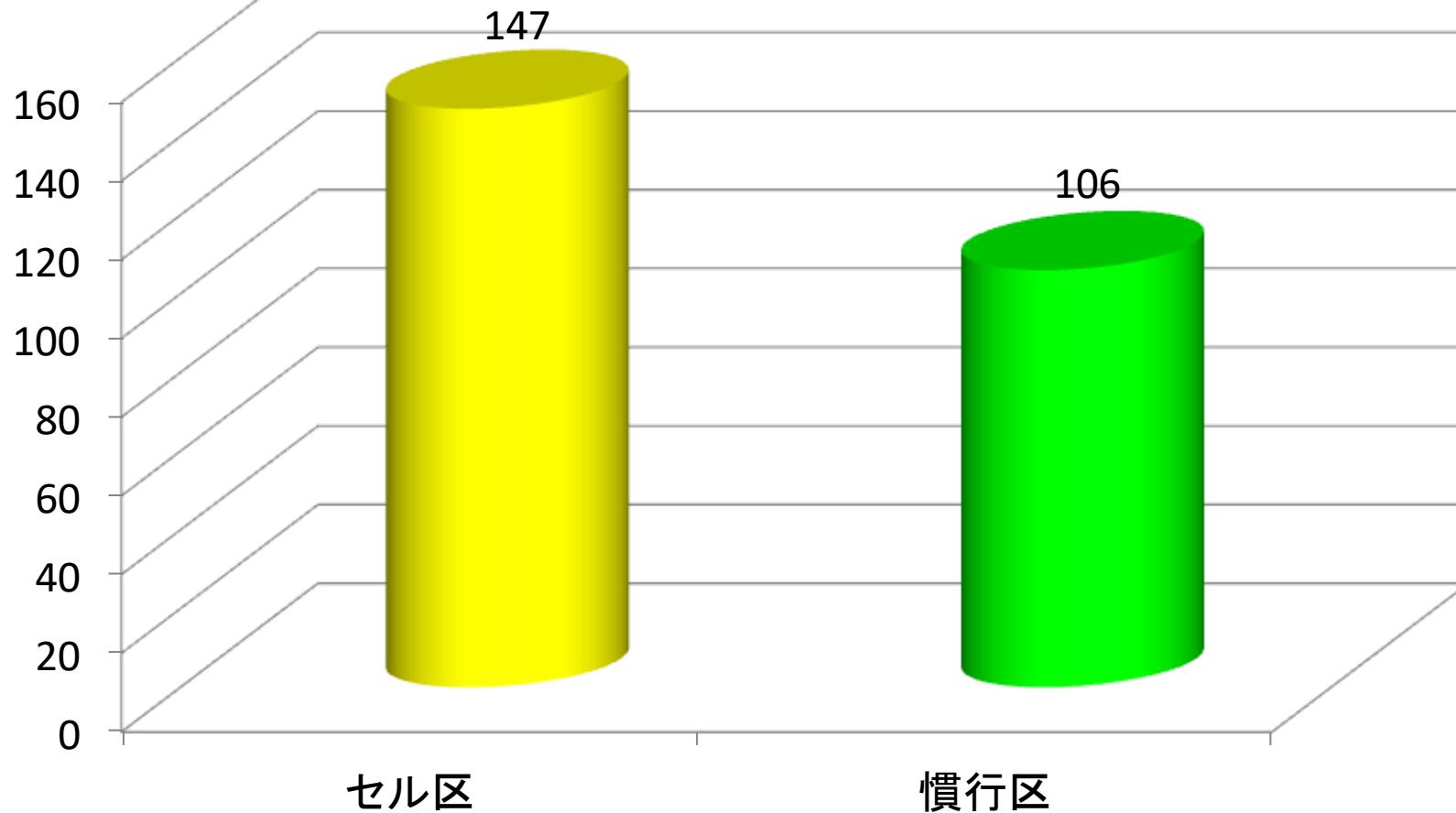
慣行区

旨味成分分析結果

2020年 株式会社 メディカル青果物研究所

グルタミン酸

単位=
mg/100g



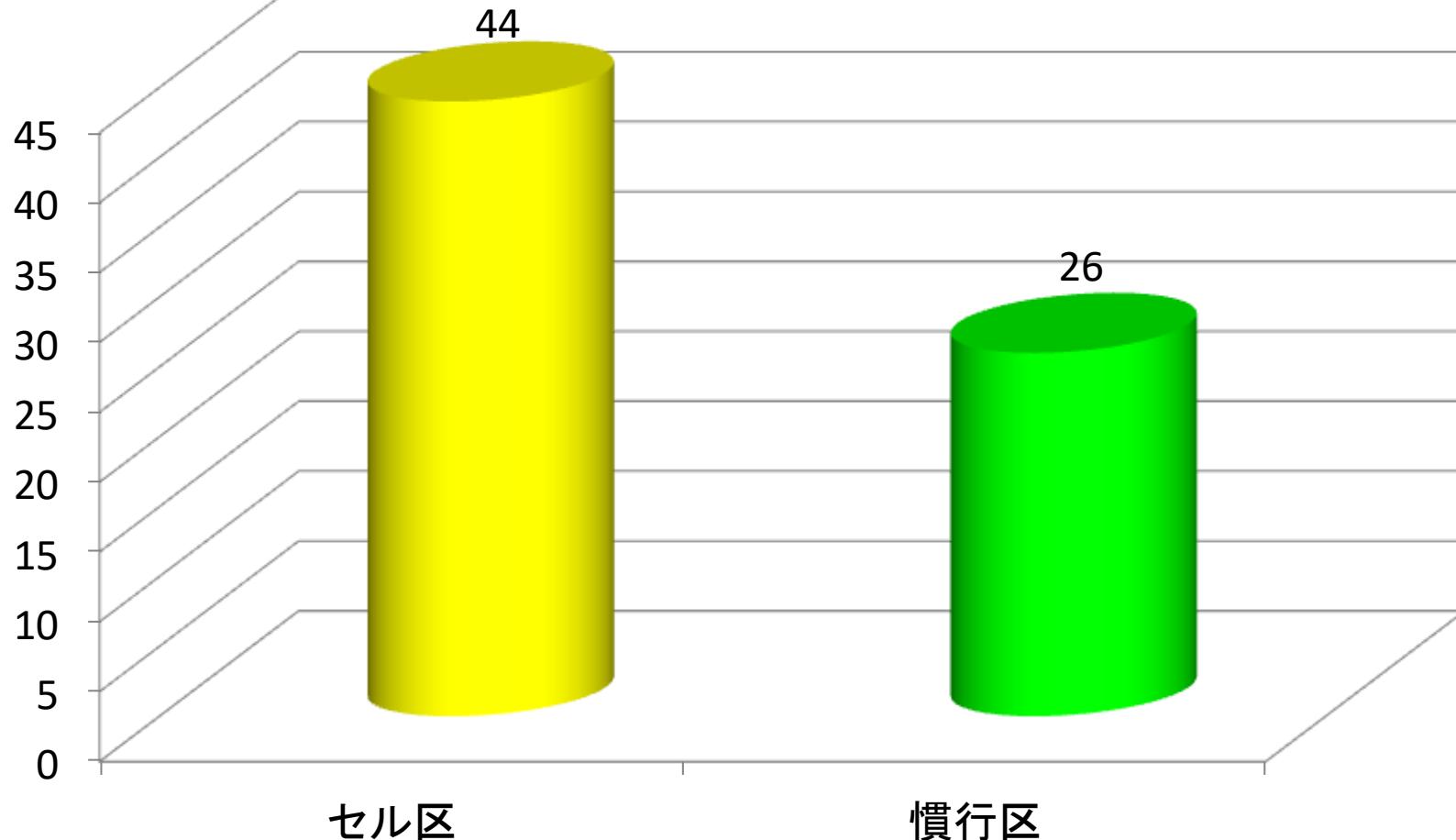
セル区で慣行区に対して
138.6% UP !

旨味成分分析結果

2020年 株式会社 メディカル青果物研究所

アスパラギン酸

単位=
mg/100g



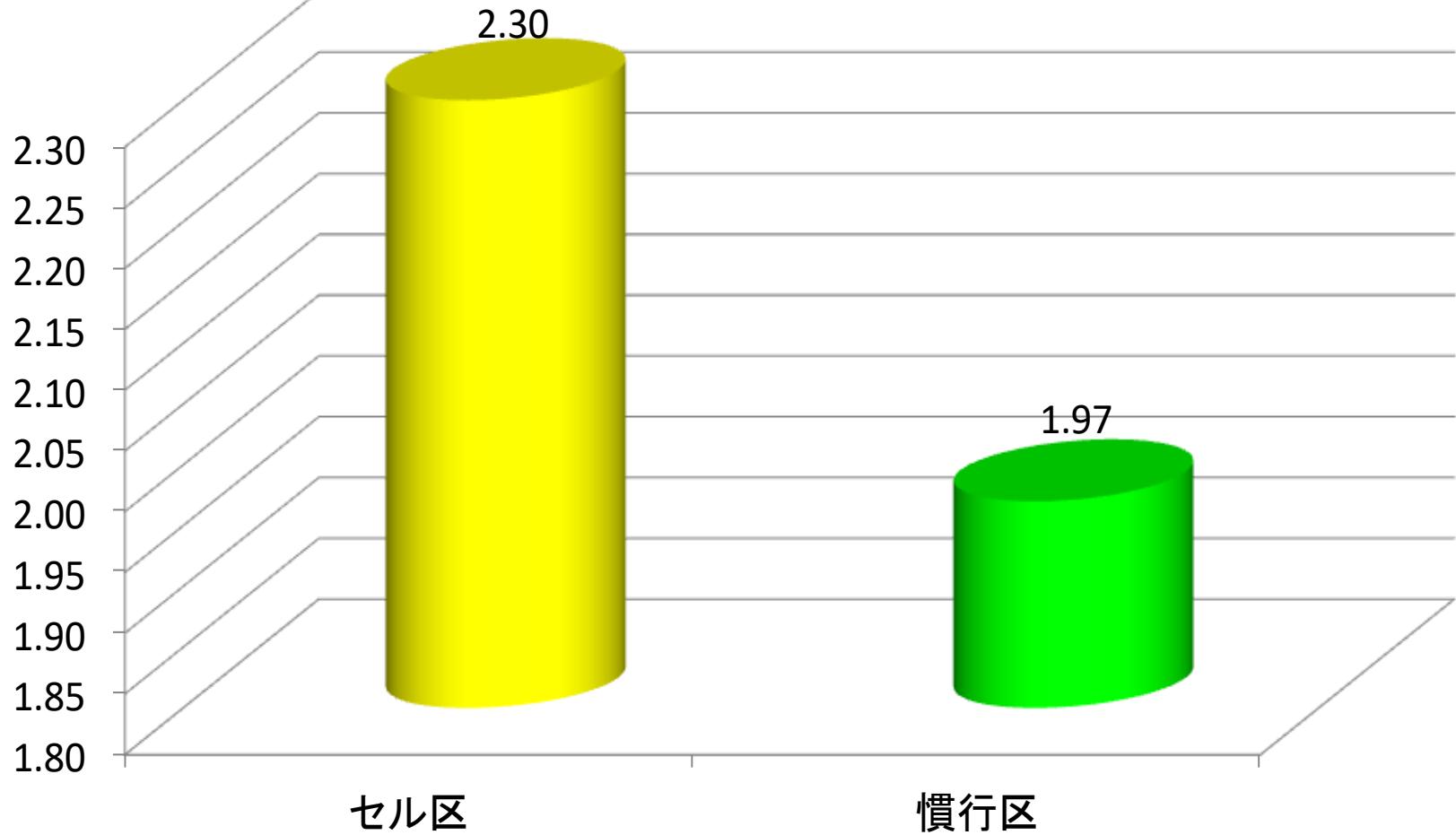
セル区で慣行区に対して
169.2% UP !

機能性成分分析結果

2020年 株式会社 メディカル青果物研究所

リコピン

単位=
mg/100g



セル区で慣行区に対して
116.7% UP !

生産者 岡崎氏コメント

<セル区>

収穫最期まで芯が太く、樹勢が若々しく、葉色は光合成能力の高い若竹色だった。玉太りも良好で、常に L・M玉中心であった。また、病気の発生も少なく、一時的に灰カビが発生したが、数回の消毒で消滅し、その後発生が見られなかつた。黄変果は発生はしているが少ない。尻ぐされは5月下旬頃、裂果は6月下旬にわずかに発生した。

大幅な収穫量増加により部会46名中、トップ5に入った。

<慣行区>

生育が常に栄養成長に偏っており、葉色は窒素の効いた濃い緑色をしていた為、生殖生長に中々切り替わらなかつた。玉太りも2L～2Sまでとまばらであった。一度、病気が発生すると消毒をしてもなかなか消滅しない。黄変果がとにかく多く発生し、5月下旬頃から尻ぐされ、6月上旬頃からは裂果がコンスタントに見られた。3月に弱樹勢・軟弱徒長の状態で花芽分化され、4月に収穫・分析を行った慣行区の果実は、果皮が薄く、空洞化が多いと考えられる。



2020年5月30日

株式会社MLセル・インパクト 御中

熊本県熊本市中央区水前寺5-18-2

096-382-7754

分析結果報告書

株式会社メディカル青果物研究所
〒121-0073

東京都足立区六町 4-12-12

TEL 03-3858-6158

FAX 03-3858-6159

分析試験成績書

株式会社メディカル青果物研究所
代表取締役 大崎 善保
〒121-0073 東京都足立区六町 4-12-12
TEL 03-3858-6158
FAX 03-3858-6159

依頼者 : 株式会社MLセル・インパクト

検体名 : トマト セル区 (VegeLove)

試験項目 : グルタミン酸、アスパラギン酸、リコペン

2020年4月29日 弊社に提出された検体について分析試験した結果は次のとおりです。

試験結果

試験項目※1	単位	測定値	参考値	測定方法・備考
グルタミン酸	mg/100g	147	240※2	高速液体クロマトグラフィー
アスパラギン酸	mg/100g	44	71※2	アミノ酸自動分析法
リコペン	mg/100g	2.3	4.1※3	アミノ酸自動分析法

※1 へたを除いて試験をした。

※2 日本食品標準成分表 2015年度版(七訂) «トマト/果実、生»

※3 DB平均値 :150検体(大玉トマト(リコペン) / 2014年~2017年 / 通年)

セル区

—以上—

分析試験成績書

株式会社メディカル青果物研究所
代表取締役 大崎 善保
〒121-0073 東京都足立区六町 4-12-12
TEL 03-3858-6158
FAX 03-3858-6159

依頼者 : 株式会社MLセル・インパクト

検体名 : トマト 慣行区

試験項目 : グルタミン酸、アスパラギン酸、リコペン

2020年4月29日 弊社に提出された検体について分析試験した結果は次のとおりです。

試験結果

試験項目 ^{※1}	単位	測定値	参考値	測定方法・備考
グルタミン酸	mg/100g	106	240 ^{※2}	高速液体クロマトグラフィー
アスパラギン酸	mg/100g	26	71 ^{※2}	アミノ酸自動分析法
リコペン	mg/100g	1.97	4.1 ^{※3}	アミノ酸自動分析法

※1 へたを除いて試験をした。

※2 日本食品標準成分表 2015年度版(七訂)《トマト/果実、生》

※3 DB平均値 :150検体(大玉トマト(リコペン)／2014年～2017年／通年)

慣行区

—以上—